

## 「生物多様性実習」

4年の夏に行われる生物多様性科学および実習では、小石川植物園で堆積物を採取し、堆積物中の微生物群集の多様性を調べます。物理化学的な環境要因と微生物の種類や多様性の比較し、生命と環境の相互作用を学びます。微生物多様性の評価は、系統遺伝子により行うので、その過程で遺伝子の抽出や分析方法、得られた遺伝情報の扱い方も学びます。写真左下は小石川植物園で採泥器を使って、試料を採取している様子です。右下は、採取した堆積物を層状に輪切りにして、堆積物深度方向での物理、化学、微生物の違いを調べるための試料を分けている様子です。

